

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
おこのみやきをつくろう	小	グループ学習 高学年ビーバー （図画工作）	川合健史 谷口健泰

<ねらい>

- ・工程に見通しを持ち、できあがりイメージしながら、作る活動を楽しむ。
- ・手元をよく見て、ボンドで紙を貼ったり、はけで絵の具を塗ったりする。

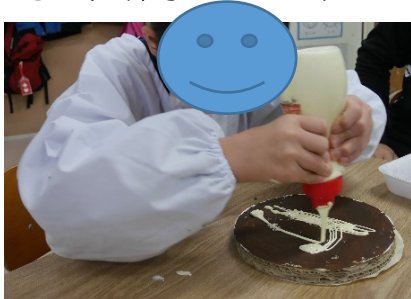
<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①丸く切られた段ボールに筆でボンドを塗り、同じ大きさの段ボールを重ねて付け、厚い生地を作る。
- ②その上にクリーム色の紙をボンドで貼り付けて、生地に色を付ける。
- ③ソースに見立てた茶色の絵の具をはけで塗る。
- ④マヨネーズに見立てたボンドを入れた容器を手でしぼる。
- ⑤その上に紅しょうがや青のりに見立てた赤と緑の毛糸を細かくはさみで切ったものをふりかける。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・段ボールや紙を貼り合わせる時に、見本を示しながら、しっかり形に合わせることを伝え、貼り合わせる面をしっかりと見て、ほぼずれることなく貼り合わせることができた。
- ・絵の具を塗る活動では、お好み焼きにソースを塗るイメージを膨らませるために、筆ではなくはけを使った。
- ・マヨネーズの色に近づけるため、白の絵の具と微量の黄色の絵の具を混ぜて、ボンドに入れた。容器も、マヨネーズ用の容器を準備した。「これは何ですか？」と児童に尋ねると、「マヨネーズ！」と答えており、イメージができていた。



<その他（材料、費用、購入先等）>

段ボール、コピー用紙（クリーム色）、ボンド、筆、絵の具（茶色・白・黄色）、はけ、マヨネーズ容器、毛糸（赤・緑）、はさみ